

TC カレッジ（高度技術職員養成制度）報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 山口信雄

1. はじめに（目的等）

東京工業大学による TC カレッジは、全国的な研究支援人財養成のロールモデルとキャリアパスを制定してスキル及び研究力強化の実現を目指すものであり、コアファシリティ事業の支援を受けて行われている。2～3年かけて専門カリキュラムを受講するとともに、これまでの業務の成果を数値化した KPI と呼ばれる指標を満たすことで TM(Technical Master)、さらに論文審査を経て TC (Technical Conductor) として認定される。

本学もコアファシリティ採択校であり、採択校同士の交流・情報交換を兼ねてバイオコースを受講することにした。

2. 期間・場所

期間：令和5年4月26～27日

場所：東京工業大学大岡山キャンパス

3. 参加者等

入学者（技術職員）23名

- | | |
|------------------|----------------------|
| ・バイオ系 TC コース：3名 | ・構造解析系 TC コース：3名 |
| ・材料評価系 TC コース：4名 | ・設計製作系 TC コース：2名 |
| ・情報系 TC コース：2名 | ・遠隔分析 DX 系 TC コース：1名 |
| ・医工系 TC コース：2名 | ・マネジメント系 TC コース：6名 |

4. 研修内容

ガイダンスと入学式の後、東工大・大岡山キャンパスにおける業務体験を行った。

5. まとめと感想

コアファシリティ採択校として TC が一人もいないのもどうかという思いと、費用はコアファシリティ事業で捻出されることもあって入学することにした。KPI も問題なく満たしているため、まじめに申請・受講すれば TM 取得までは問題ないと思われるが、手続きや受講にはかなり手間がかかる。TC 論文は和文で良く、これまでの業務をまとめる感じであり、必ずしも何か学術的な新発見などを必要としないため、ハードルはそこまで高くない。

今回は入学式とガイダンス後に東工大の各職場の視察から始まった。今回は工業系が中心の大岡山キャンパスで、学校工場、スパコン管理部署、実習支援部署、マネジメント部署を見て回った。理学実習支援専門の技術職員や、立派な撮影スタジオで全学の動画作成・配信を一手に引き受ける技術職員など、広大にいないタイプの職員もおられて大変興味深い。年度後半に生物系が多いすずかけ台キャンパスを視察し、別途オンライン講義も幾つか受ける予定。